

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 19 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 小宮 純		
健福-22	実施事業	シルバー人材センター支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	就業を希望する高齢者
意図	働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。
効果	高齢者の勤労意欲と健康の増進、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付及び運転資金貸付により、法人の円滑な運営を支援した。 ・事務所の運営に係る経費を補助した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人口等の	人口	177,243人	176,869人		人口	176,466人	
	世帯数	80,676世帯	80,928世帯	世帯数	81,150世帯			
	事業の対象者数			事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	45,534	46,384	当初予算(千円)	46,384			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	7,006	7,006	その他	7,006			
	一般財源	38,528	39,378	一般財源	39,378			
	人員配置数	0.3	0.3	人員配置数	0.3			
事業経費運営	人件費(千円)	2,348	2,346	人件費(千円)	2,375			
	総事業費(千円)	47,882	48,730	総事業費(千円)	48,759			
	市民1人当りの経費(円)	270	276	市民1人当りの経費(円)	276			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある			
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない			
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある			
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある			
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある			
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である			
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある		
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない	協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	勤労意欲のある高齢者に対し、生きがいと社会参加の機会を提供するシルバー人材センターを支援することは、健康寿命の延伸や地域の活性化につながるため、補助金のあり方については検討するものの、事業は引き続き行っていく。しかしながら、センターの人件費体系についての見直しが必要である。さらに、事務所移転についての検討が必要である。		
総評(評価に対する考え方、根拠等)	高齢者の生きがいづくりとしてシルバー人材センターは重要な役割を担っているが、法人ができるだけ自立した運営に移行できるように、適正な補助のあり方・支援の方法等について検討を進める				

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	法人運営が自立していくためには事業収入を増加させる必要がある。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	事業収入増加については、自主事業の拡大等、指導を行っている。 平成29年度運営費補助金執行額の削減について、センターと交渉し了承を得た。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	運営費補助金の見直しについてさらなる検討を行う。事業の合理化や事務局体制のあり方、会員数の拡大など法人運営が自立していくような支援の方法を検討する。 事務所の運営支援については、移転を視野に入れた見直しを進める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	シルバー人材センター事業実績 上段=会員数、下段=就業率(請負・委任における就業実人員÷会員数) (平成27年度)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	三浦市	藤沢市	平塚市			
他市実績	602人	1,220人	203人	2,500人	1,697人			
	90.5%	75.6%	79.3%	39.6%	65.2%			

比較事項	請負・委任契約状況 上段=契約金額、下段=受注件数 (平成27年度)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	三浦市	藤沢市	平塚市			
他市実績	285,003千円	547,945千円	91,474千円	771,244千円	631,239千円			
	3056件	4616件	812件	2930件	6061件			

比較事項	シルバー人材センター運営費(人件費)補助金 (平成27年度)							
団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	茅ヶ崎市				
他市実績	34,572千円	8,840千円	14,500千円	33,435千円				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	就業率は高いが、会員数をもともと少ないうえに少しずつ減少しているため、事業規模としては縮小傾向である。
----------------------	-----------------------------------------------------

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	シルバー人材センター運営費(人件費)補助金						単位	千円	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
補助金の推移の把握	目標値	/	/	/	/						
	実績値	38,491	34,572	35,722	28,722						
	達成率	/	/	/							

指標の内容	自主事業収入(市役所駐車場管理)						単位	円	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
自主事業収入の推移の把握	目標値	/	/	/							
	実績値	15,794,060	15,714,500	17,944,300							
	達成率	/	/	/							

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	運営費補助金は平成29年度執行額を削減し、今後も予算規模を縮小する。事業収入を増加し、自立運営を促す必要がある。
-----------------------	----------------------------------------------------------